

令和3年度定期作況報告

5月20日現在

道総研酪農試験場

I. 気象概況

前年11月から、本年5月中旬までの気象の経過は、平年に比べておおむね次の通りである。

令和2年

11月：気温は全ての旬で平年並であった。降水量は上旬で極めて少なく、中旬で少なく、下旬でやや少なかった。日照時間は上旬で平年並、中旬でやや少なく、下旬で少なかった。

12月：気温は上旬で平年並、中旬で低く、下旬でやや低かった。降水量は上旬で極めて少なく、中・下旬でやや少なかった。日照時間は上旬でやや多く、中・下旬で平年並であった。根雪始は12月30日で平年より13日遅かった。

令和3年

1月：気温は上旬で低く、中旬でやや高く、下旬で平年並であった。降水量は上旬でやや多く、中・下旬で平年並であった。日照時間は上旬で平年並、中旬でやや少なく、下旬で平年並であった。

2月：気温は上旬でやや低く、中旬で高く、下旬で平年並であった。降水量は上旬で平年並、中旬できわめて多く、下旬で平年並であった。日照時間は上旬で平年並、中旬でやや少なく、下旬で平年並であった。
2月20日の土壤凍結深は30cmで平年より9cm深く、最深積雪深は58cmで平年より27cm少なかった。

3月：気温は上旬で平年並、中旬で高く、下旬で極めて高かった。降水量は上旬でやや少なく、中旬で平年並、下旬で極めて多かった。日照時間は上旬で平年並、中・下旬でやや少なかった。根雪終は3月27日で平年より12日早く、積雪期間は88日で平年より25日短かった。

4月：気温は上旬で平年並、中旬で高く、下旬でやや低かった。降水量は上旬で少なく、中旬でやや多く、下旬で極めて多かった。日照時間は上旬でやや多く、中・下旬で平年並であった。

令和3年

5月上旬：最低気温・最高気温・平均気温はいずれも平年並であった。降水量は2.0mmで平年より38.0mm少なかった。日照時間は43.2時間でやや少なかった。

5月中旬：最低気温はやや高く、最高気温は平年並で、平均気温は9.6℃で平年より0.8℃高かった。降水量は48.0mmで平年より16.6mm多かった。日照時間は58.9時間で平年並であった。

各旬の気象の特徴は上記の通りであるが、寒候期（11月～4月）を平均すると気温および日照時間は平年並であった。降水量は平均すると平年並であるが、11～12月中の降雪が少なく、積雪深も少なかった。根雪期間は短く、土壤凍結が深かったことが特徴的であった。

季節調査

	令和2年			令和3年					
	初雪 (月日)	根雪始 (月日)	最深積雪 (cm)	2月20日			根雪終 (月日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)
				土壤凍結深 (cm)	積雪 (cm)				
本年	11.10	12.30	58	30	37	3.27	4.25	5.7	
平年	11.11	12.17	85	21	53	4.8	4.26	5.7	
比較	△ 1	13	△ 27	9	△ 16	△ 12	△ 1	0	

注1) 平年値は前10ヶ年平均値

2) △は減を示す

3) 最深積雪は根雪期間中の値

令和3年度 気象表

年	月	旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(時間)		
			本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
R2	11	上旬	4.3	6.0	△ 1.7	9.5	11.0	△ 1.5	-1.4	0.8	△ 2.2	3.0	46.1	△ 43.1	1.0	3.3	△ 2.3	65.6	43.2	22.4
		中旬	2.5	3.4	△ 0.9	7.2	7.9	△ 0.7	-3.7	-1.6	△ 2.1	32.0	28.9	3.1	4.0	3.8	0.2	58.3	47.8	10.5
		下旬	0.0	0.3	△ 0.3	5.5	5.0	0.5	-5.9	-5.0	△ 0.9	3.0	22.2	△ 19.2	2.0	3.2	△ 1.2	66.9	51.9	15.0
	12	上旬	-3.0	-1.6	△ 1.4	2.3	3.1	△ 0.8	-8.6	-6.9	△ 1.7	9.0	45.9	△ 36.9	2.0	2.9	△ 0.9	59.5	49.4	10.1
		中旬	-1.5	-3.6	2.1	3.3	1.0	2.3	-7.3	-9.5	2.2	5.5	19.9	△ 14.4	2.0	3.1	△ 1.1	35.6	52.1	△ 16.5
		下旬	-5.7	-4.4	△ 1.3	-1.0	-0.1	△ 0.9	-12.3	-10.5	△ 1.8	15.0	25.5	△ 10.5	4.0	3.2	0.8	61.5	54.3	7.2
R3	1	上旬	-5.4	-5.8	0.4	-1.7	-1.2	△ 0.5	-10.9	-11.8	0.9	0.5	9.8	△ 9.3	1.0	2.6	△ 1.6	58.0	50.9	7.1
		中旬	-6.1	-7.9	1.8	-0.8	-2.6	1.8	-12.6	-14.6	2.0	6.5	4.9	1.6	2.0	1.3	0.7	52.4	57.8	△ 5.4
		下旬	-4.9	-7.0	2.1	-1.3	-1.8	0.5	-9.5	-14.2	4.7	44.0	16.6	27.4	2.0	3.1	△ 1.1	53.4	55.8	△ 2.4
	2	上旬	-8.3	-7.2	△ 1.1	-4.5	-2.2	△ 2.3	-14.5	-14.4	△ 0.1	5.5	10.1	△ 4.6	1.0	2.7	△ 1.7	37.2	58.4	△ 21.2
		中旬	-3.9	-6.2	2.3	1.0	-1.3	2.3	-9.5	-13.1	3.6	6.5	8.7	△ 2.2	1.0	2.0	△ 1.0	59.0	55.4	3.6
		下旬	-5.8	-5.2	△ 0.6	-0.6	-0.1	△ 0.5	-12.9	-12.9	0.0	13.5	8.7	4.8	1.0	1.8	△ 0.8	67.6	51.7	15.9
	3	上旬	-1.9	-3.2	1.3	1.4	1.1	0.3	-6.1	-9.4	3.3	74.0	34.2	39.8	4.0	3.1	0.9	26.8	51.9	△ 25.1
		中旬	0.5	-1.6	2.1	5.3	3.0	2.3	-5.1	-7.4	2.3	22.5	10.5	12.0	2.0	2.5	△ 0.5	68.6	62.9	5.7
		下旬	2.1	-0.5	2.6	7.0	4.1	2.9	-3.2	-6.0	2.8	0.0	8.8	△ 8.8	0.0	2.9	△ 2.9	92.7	69.7	23.0
	4	上旬	3.0	1.8	1.2	7.4	6.3	1.1	-0.8	-2.9	2.1	50.5	36.6	13.9	7.0	3.2	3.8	37.2	56.1	△ 18.9
		中旬	1.8	3.6	△ 1.8	6.7	8.9	△ 2.2	-3.0	-1.2	△ 1.8	5.5	27.7	△ 22.2	1.0	2.9	△ 1.9	64.2	56.5	7.7
		下旬	5.7	6.4	△ 0.7	11.6	13.0	△ 1.4	-0.4	0.3	△ 0.7	16.5	27.8	△ 11.3	5.0	3.0	2.0	66.0	65.5	0.5
	5	上旬	9.9	8.1	1.8	16.7	13.9	2.8	3.0	2.9	0.1	12.5	44.4	△ 31.9	6.0	4.3	1.7	55.5	52.6	2.9
		中旬	9.6	8.8	0.8	15.8	14.9	0.9	4.8	3.5	1.3	48.0	31.4	16.6	3.0	3.6	△ 0.6	58.9	56.9	2.0

備考) データはアメダス観測値(中標津). 平年値は前10ヶ年平均値.

Ⅱ. 当 場 作 況

1. とうもろこし

作況: ー

事 由

耕鋤始は5月7日で平年並であった。その後は天候に恵まれ播種床造成作業は順調に進んだ。播種は平年より8日早い5月12日に行われた。

品種名	播種日(月日)		
	本年	平年	比較
たちぴりか	5.12	5.20	△8

注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成 22 年度より供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3) 平年値は前 7 カ年のうち最豊年の平成 26 年および最凶年の平成 28 年を除く 5 カ年の平均値である。

4) △は減を表す。

2. 牧草
 (1) 採草型
 チモシー単播

作況：1 番草 並

事 由

土壌凍結は深かったものの、根雪終わりが3月27日と平年よりも早く、越冬後の生育は順調に進んだ。萌芽期は平年よりも2年目草地で3日、3年目草地で2日早かった。冬損状態は平年よりも2年目草地で0.4ポイント、3年目草地で0.6ポイント高く、総じて平年並であった。5月20日現在の草丈は、2年目草地で48cm（平年値は43cm）、3年目草地で43cm（平年値は44cm）であったことから総じて平年並みと判断される。

以上のことから、現時点での作況は並と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「なつちから」2年目	TY単播	4.20	4.23	△3	2.0	1.6	0.4	48	43	5
「なつちから」3年目	TY単播	4.23	4.25	△2	3.0	2.4	0.6	43	44	△1

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

注2) 平成30年度から供試品種を「ノサップ」から「なつちから」に変更している。

注3) 平年値：平成26年～令和2年のうち、最凶年(2年目草地：平成28年、3年目草地：平成28年)と最豊年(2年目草地：平成26年、3年目草地：平成29年)を除く5ヶ年平均値。

注4) △は減を示す。

(2) 放牧型

オーチャードグラス

作況：1 番草 不良

事 由

根雪始が平年よりも13日遅く、土壌凍結が平年よりも深かったことから凍害と雪腐病による冬損が認められ、越冬後の生育は停滞した。萌芽期は平年よりも2年目草地で5日、3年目草地で10日遅かった。冬損状態は平年よりも2年目草地で2.6ポイント、3年目草地で平年よりも2.3ポイント高く、総じて高かった。5月20日現在の草丈は、2年目草地で35cm（平年値は40cm）、3年目草地で21cm（平年値は28cm）であったことから総じて低いと判断される。

以上のことから、現時点での作況は不良と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ハルジマン」2年目	OG単播	4.30	4.25	5	4.0	1.4	2.6	35	40	△ 5
「ハルジマン」3年目	OG単播	5.7	4.27	10	5.0	2.7	2.3	21	28	△ 7

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

注2) OG:オーチャードグラス

注3) 平年値:2年目草地については平成26年～令和2年のうち、最凶年(平成26年)と最豊年(令和2年)を除く5ヶ年平年値。3年目草地については平成27年～令和2年の6ヶ年の平均値である。

注4) △は減を示す。

メドウフェスク

作況：1 番草 並

事 由

根雪始が平年よりも13日遅く、土壌凍結が深かったことから、越冬後の生育はやや停滞した。萌芽期は平年よりも2年目草地で1日、3年目草地で9日遅かった。冬損状態は平年よりも2年目草地で1.2ポイント、3年目草地で1.8ポイント高く、総じてやや高かった。5月20日現在の草丈は、2年目草地で36cm（平年値は31cm）、3年目草地で19cm（平年値は24cm）であったことから総じて平年並と判断される。

以上のことから、現時点での作況は並と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「まきばさかえ」2年目	MF単播	4.30	4.29	1	4.0	2.8	1.2	36	31	5
「まきばさかえ」3年目	MF単播	5.7	4.28	9	5.0	3.2	1.8	19	24	△ 5

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

注2) MF:メドウフェスク。

注3) 令和2年から放牧型としてメドウフェスクの作況も掲載する。

注4) 平年値:2年目草地については平成26年～令和2年のうち、最凶年(平成26年)と最豊年(令和2年)を除く5ヶ年平年値。3年目草地については平成27年～令和2年の6ヶ年の平均値である。

注5) △は減を示す。

令和3年度作況調査供試作物、品種および耕種概要

供試作物 および 品種名	1区 面積 (m ²)	施 肥 量 (kg/10a)						栽植様式
		堆肥	炭カル	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	
1.サイレージ用								畦間72cm
とうもろこし	11.5	4,000	200	8+4	23	14	3	株間18cm
「たちびりか」								7,716本/10a
2.牧 草								
(1)採草型								
TY「なつちから」	9.6	4,000	300	10	23	14	8	30cm条播 播種量
		-	-	17	8	17	4	1.5kg/10a
(2)放牧型								
OG「ハルジマン」	9.6	4,000	300	10	23	14	8	30cm条播 播種量
		-	-	17	8	17	4	2.0kg/10a
MF「まきばさかえ」	9.6	4,000	300	10	23	14	8	30cm条播 播種量
		-	-	17	8	17	4	3.0kg/10a

1)サイレージ用とうもろこしは、地域適応性検定試験の圃場。

2)牧草は、2、3年目草地を調査。採草型は年2回、放牧型は5回（各月1日）の刈り取り。

3)TY：チモシー、OG：オーチャードグラス、MF：メドウフェスク。

4)牧草の施肥量は、上段が造成年(1年目)、下段が2、3年目草地を示す。